

(別紙様式1)

## 自然科学研究機構産学連携支援事業 申請書

【申請区分】 どちらかにチェックをお願いいたします。

☐ 萌芽支援

☐ 育成支援 (マッチングファンド)

1. 研究事業名 (採択時に公表される情報です。)

2. 研究代表者 (※は採択時に公表される情報です。)

ふりがな※		生年月日	年 月 日
氏 名※		(年齢)	( 歳)
所属機関※ 所属部署※		職名※	
T E L		F A X	
E-mail			

3. 連携研究者

企業等と実施している共同研究と関連した内容を申請する場合には、共同研究先企業等に承諾を得た上で、企業等の連携担当者を記載してください (申請書作成時に青字は削除してください)。

氏 名	所 属	職 名	連 絡 先

4. 共同研究の情報 (※申請が企業等と実施している共同研究と関連している場合)

企業等と実施している共同研究と関連した内容を申請する場合にのみ、共同研究先企業等に承諾を得た上で記載してください (申請書作成時に青字は削除してください)。

※「育成支援 (マッチングファンド)」申請時には記入必須です。研究経費欄については企業の負担研究費 (直接経費) 額を記載し、NINS支援額とのマッチング関係が分かるように記載してください。

共同研究の件名	
共同研究先の名称	
研究の期間	
研究経費 (総額)	

## 5. 事業経費

円

(内訳)

(単位：円)

	事 項	金 額
設備・備品費 (※)		
消耗品費		
旅費		
謝金等		
その他		
合計金額		

(※) うち、設備・備品費の内容を詳細に記載すること

## 設備・備品費の詳細

(単位：円)

品 名	仕 様	数量	単価	金 額	設置場所
計					

※「育成支援（マッチングファンド）」申請時には、企業負担研究費（直接経費）と本申請経費の総額を記載し、NINS支援額とのマッチング関係が分かるように記載してください（記載例：総額：6,000,000円、内訳：企業負担研究費3,000,000円、NINS支援額3,000,000円）。総額においてNINS支援額が企業負担額と同額以下であれば費目毎のマッチング比率は問いません。

※「育成支援（マッチングファンド）」申請時には、設備・備品費の詳細において、各品目について企業負担研究費（直接経費）もしくはNINS支援金のどちらを充当するのか明確に記載してください。

NINS支援金が企業側の経費に充当されることはない点を確認の上記載してください。

## 6. 研究期間

2026年4月1日～2027年3月31日

7. 継続課題の該当有無

過去に研究代表者として自然科学研究機構産学連携支援事業に採択されたことがある、もしくは自然科学研究機構産学連携支援事業において本申請と類似した研究課題に連携研究者として参画したことがある場合には当該課題名と採択年度及び本申請との関連性を記載してください。

課題名：	採択年度：
本申請との関連性：	

## 8. 目的

本研究の目的を具体的かつ明確に記述してください。特に、9に記載する既存の知的財産や研究成果をどのように活用した研究開発なのか、具体的に記してください。（本事業の背景となる具体的な社会課題等の状況とこれまで実施された研究の関係も含めて、本事業が最終的に目指すところについてご説明ください。企業等と実施している共同研究と関連した内容を申請する場合には、企業等が果たす役割および共同研究経費に加えて本事業で支援することが適当である事由について明確に記述してください。A4サイズ1枚以内）（申請書作成時に青字は削除してください）

## 9. 目的達成のために必要な方策

本事業を進めるための詳細な研究開発計画とその進め方を記載してください。（A4サイズ1枚以内）（申請書作成時に青字は削除してください）

### ① これまでの研究経緯と具体的な産業応用や社会実装に当たっての課題

（これまでの研究によって得られた成果や知見について簡潔にご説明ください。具体的な産業応用や社会実装の可能性について既存技術や類似研究に対する優位性を含めてご説明ください。市場調査、産業応用に向けた産業界との連携・情報交換等の実績があれば記載してください。6で記載した過去の採択課題との関係を記述してください。）

### ② 研究実施内容

（具体的な産業応用や社会実装の可能性検証のために実施する研究実施内容について、スケジュール、用いる手法、検討する項目等を具体的に記載してください。6で記載した過去の採択課題との関係を記述してください。）

### ③ 本事業の達成目標とその後の計画

（本事業期間終了時点における具体的な達成目標と全体の目的における本事業の寄与分、本事業終了後の計画について知的財産の取得・活用計画を含めてご説明ください。）

10. 本申請の元となる研究成果または知的財産の保護・活用の考え方

① 今回の申請に最も関連する基本特許及びノウハウ等の知的財産（既にある場合）

発明等の名称			
出願番号			
出願日		登録日	
出願人		発明者	
国際ステータス	有り ・ 無し （有りの場合、主要移行国 ）		
発明の概要			

② 今回の申請に最も関連する研究成果について（既にある場合）

（発表論文名、投稿中論文名など）（申請書作成時に青字は削除してください）

11. 本事業で創出される研究成果について、知的財産として権利化する場合の基本的な考え方について

たとえば、創出された知的財産は、原則として自然科学研究機構の単独特許であるとするが、実際に権利化した場合、共同出願となる可能性のある大学や研究機関等について。（申請書作成時に青字は削除してください）

1 2. 機関の長の確認

下記の件について、機関の長の下承を得た場合は、チェック（✓）または機関の長の押印をしてください。

当該事業への申請について、機関の長として下承します。	
----------------------------	--